

軌道旅客運賃の上限運賃変更認可申請について

阪堺電気軌道株式会社(本社:大阪市住吉区/社長:細井 康史)では、本日6月30日(火)、近畿運輸局長宛てに軌道旅客運賃変更認可申請を行いました。

申請理由および申請内容は次のとおりです。

ご利用の皆さまにはご負担をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

1. 申請の内容

(1) 申請理由

当社は、大阪市南部から堺市北西部の通勤および通学、ならびに新世界・天王寺や住吉大社、堺市中心市街地域への観光等の輸送を担っております。

当社の運賃は2014(H26)年4月の消費税率改定に伴い、翌2015(H27)年2月に転嫁を行いました。1995(H7)年3月以降、本格的な運賃改定は見送ってきました。

しかしながら、交通手段の多様化や少子高齢化による就労人口の減少等の要因から、1998(H10)年度に11,048千人にご利用いただいております輸送人員は2009(H21)年度に7,220千人まで落ち込み、赤字経営が常態化しておりました。そのため、自立再生可能な事業構造に向けた全般的な見直しを関係各所と行い、堺市より2010(H22)年度から10年間の支援を受けることになり、安全性と利便性の向上や利用者の拡大に資する施策に取り組みました。

これらの施策に沿って、2011(H23)年1月から大阪市内と堺市内を跨って利用する場合の普通運賃の値下げや堺市在住高齢者対象の割引制度といった利用者拡大策を、2013(H25)年度から低床車両を3編成、2014(H26)年度にはICカードシステムを導入し、さらに2015(H27)年の「石津北」停留場の新設や2016(H28)年の「宿院」「天王寺駅前」「阿倍野」の各停留場のバリアフリー化等、利便性向上に資する施策を実施することで、2018(H30)年度の輸送人員は8,202千人まで回復いたしました。

今後もバリアフリー化や旅客サービス設備の改善を実施し、利用しやすい交通環境を整備するため、老朽化した車両や施設設備の更新、サービス改善や安全性確保に資する投資に加え、大阪府における最低賃金の大幅な上昇により、従業員の確保や外注工事費の高騰による負担の増加が見込まれ、今後の収支見通しにおいて現在の認可上限運賃に変更しても収支改善を図ることが困難な状況にあります。

よって、経営の健全化を図りつつ、輸送の安全を確保し、お客さまの利便性やサービスの維持向上を図るとともに、堺市の支援等で実施している普通運賃の全線均一制は利

用者の拡大に貢献し運賃制度として定着していることから、今回、定期運賃を含めた運賃制度の変更と旅客運賃の上限運賃変更の申請を行ったものであります。

(2) 申請の概要

A. 上限運賃

①普通旅客運賃（大人）

250円（均一制）

②定期旅客運賃（大人・1箇月）

通勤 9,660円（均一制）

通学 5,500円（均一制）

※上限運賃の認可後、上限運賃の範囲内で実施運賃の届出を行い、普通旅客運賃の改定を予定いたしております（「9. 参考」を参照）

B. 定期旅客運賃平均割引率

上限運賃での割引率比較

通勤 35.6%（現行32.4%）

通学 63.3%（現行67.1%）

(3) 実施予定日

2020年10月1日（木）

(4) 平均改定率

①普通旅客運賃（大人） 5.938%

②定期旅客運賃（通勤・大人・1箇月） 10.576%

③定期旅客運賃（通学・大人・1箇月） 29.172%

(5) 現行・申請上限運賃比較表

①普通旅客運賃

申請（上限運賃）	現行（上限運賃）
全線 250円均一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市内 210円均一 ・ 堺市内 210円均一 ※住吉駅又は我孫子道駅で乗り換えて乗車する場合は、1回に限り、併算した運賃の額から130円を減じた額とし、我孫子道駅を通過する場合は我孫子道で乗り換えて乗車したものとみなす（290円）

②通勤定期旅客運賃（大人1箇月）

営業キロ程	申請（上限運賃）	現行（上限運賃）
1キロ	9,660円 (均一制)	7,050円
2キロ		7,770円
3キロ		8,660円
4キロ		
5キロ		
6キロ		
7キロ		
8キロ		12,360円
9キロ		
10キロ		
11キロ		
12キロ		
13キロ		
14キロ		

③通学定期旅客運賃（大人1箇月）

営業キロ程	申請（上限運賃）	現行（上限運賃）
1キロ	5,500円 (均一制)	2,960円
2キロ		3,410円
3キロ		3,870円
4キロ		4,440円
5キロ		
6キロ		
7キロ		
8キロ		6,320円
9キロ		
10キロ		
11キロ		
12キロ		
13キロ		
14キロ		

2. 軌道部門収支実績及び推定

単位：百万円

	2018年度 実績	2019年度 推定	2020～2022年度（3年間合 計）	
			現行	申請
営業収益	1,431	1,428	4,421	4,732
営業費用	1,467	1,509	4,768	4,768
営業損失	▲36	▲81	▲347	▲36
営業収支率	97.6%	94.7%	92.7%	99.3%

3. 運賃収入内訳

単位：百万円

	2018年度 実績	2019年度 推定	2020～2022年度（3年間合 計）	
			現行	申請
定期外	1,103	1,108	3,479	3,697
定期	231	224	652	746
合計	1,334	1,332	4,131	4,443

4. 輸送人員の推移及び今後の需要見通し

単位：千人

	2015年 度 実績	2016年 度 実績	2017年 度 実績	2018年 度 実績	2019年 度 推定	2020年 度 推定	2021年 度 推定	2022年 度 推定
定期外	5,746	5,603	5,816	5,880	6,017	6,158	6,302	6,449
定期	2,436	2,388	2,382	2,322	2,289	2,257	2,225	2,193
合計	8,182	7,991	8,198	8,202	8,307	8,415	8,527	8,643
前年比	+	-	+	+	+	+	+	+
	0.9%	2.3%	2.6%	0.1%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%

5. 設備投資の実績と計画

(1) 設備投資計画と実績

単位：百万円

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)
安全対策	258	232	213	238	313	293
サービス 改善等	1,341	829	78	522	16	0
合計	1,599	1,061	291	760	329	293

(2) 検討中の主要プロジェクト

①プログラム運行制御装置更新

【概要】我孫子道の運行管理システム（簡易 PTC 化）及び住吉連動装置の更新

【目的・効果】簡易 PTC 化を行うことにより、運転指令で電車の運行状況をより詳細に把握出来ることから、異常時等における運行の乱れが発生してから通常運行へ回復するまでに要する時間を短縮し、利便性の向上を図ります。また、住吉での行先表示（信号現示）を自動で現示等するようシステム機器を更新することで、安全性を向上させます。

【投資額】100 百万円

②宿院交差点改修工事

【概要】宿院交差点のブロック及び軌道の更新

【目的・効果】老朽化しているレール等の更新を行い、安全性を向上させるとともに電車の揺れを解消し、利用者の快適性を高めます。

【投資額】180 百万円

③南海本線（堺市）連続立体交差事業に伴う移設工事

【概要】南海本線の高架化工事に伴う阪堺線の移設

【目的・効果】連立事業と阪堺線（船尾～浜寺駅前間）の移設を一体的に進めることにより、南海本線と阪堺線の乗継利便性を高め、交通結節点の機能向上を図ります。

【投資額】未定

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

これまで、経営の合理化としてノルマアップによる要員削減などの労働条件見直しや、基本給のカット・退職金の凍結及び制度の見直しなどの賃金制度見直しを行うなど、生産性向上策を実施する一方で、上町線住吉・住吉公園間の廃止や外注費の見直し等の費用の削減についても進めて参りました。

今後も費用の削減に努め、効率的な運営を行ってまいります。

7. 運賃・料金の多様化の内容（既存の企画乗車券など）

（1）TAKETAKE（てくてく）きっぷ

スクラッチ式の乗車券で、任意の1日が上町線・阪堺線ともに乗り放題となる割安のきっぷ。沿線地域の観光やビジネス等に便利な乗車券として好評をいただいております。

（2）おもてなしチケット【阪堺拡大版】

スクラッチ式の乗車券で、任意の1日が上町線・阪堺線ともに乗り放題となる他、堺市内を運行する南海バスの一部区間も乗り放題となる割安のきっぷ。当社の沿線地域だけでなく、堺市内においては沿線から少し足を延ばして観光が出来る便利な乗車券。

（3）おもてなしチケット【南海バス拡大版】

スクラッチ式の乗車券で、任意の1日が阪堺線の堺市内と南海バスが運行する堺市内の一部区間（おもてなしチケットの阪堺拡大版よりも広い区間）が乗り放題となる割安のきっぷ。堺市内広範囲の観光が出来る便利な乗車券。

（4）おでかけ応援 IC カード

堺市が高齢の方の外出を支援するために、堺市在住で満65歳以上の方を対象として堺市が発行している IC カードで、ご利用の際に乗車か降車の少なくともどちらか一方が堺市内であれば1乗車100円でご利用いただける制度。

8. 利用者サービスの向上策

(1) 低床式車両の導入

将来の高齢化社会に対応すべく 2013 (H25) 年度より順次導入を開始、2019 (H31) 年度までに4編成を導入し、乗降時の快適性向上に努めております。

(2) 車両乗車口への補助踏み台の設置

保有している車両の一部において、乗車口がワンステップのため段差の高い車両があり、沿線の老人ホームの方にもご協力をお願いしながら 2018 (H30) 年度に乗車時の補助として踏み台を設置し、より安全にご利用いただけるよう設備の改善に努めております。

(3) IC カードシステムの導入

2014 (H26) 年4月1日より導入し、全国の交通系 IC カード相互利用も同時に対応。普段から IC カードをご利用される方が年々増加する中、利便性向上を図るため実施いたしました。

(4) 停留場のバリアフリー化

公的支援も活用しながら 2015 (H27) 年度には「宿院」、2016 (H28) 年度には「天王寺駅前」及び「阿倍野」、2019 (H31) 年度には「恵美須町」のバリアフリー化工事を実施し、高齢者をはじめ多くのお客さまにとって利便性と快適性が向上するよう努めております。

(5) 乗継利便性の向上

南海本線(堺市)連続立体交差事業に伴う移設工事(連立事業)について現在協議を進めておりますが、連立事業と阪堺線(船尾-浜寺駅前間)の移設を一体的に進めることにより、南海本線と阪堺線の乗継利便性を高め、交通結節点の機能向上を図って参ります。

9. 参考

上限運賃の認可後に届出を予定している実施運賃につきましては、下記のとおり改定する予定です。

○普通旅客運賃（大人）※現行は堺市の支援策等により全線210円均一

届出予定（実施運賃）	現行（上限運賃）
全線230円均一	・大阪市内210円均一 ・堺市内210円均一 ※住吉駅又は我孫子道駅で乗り換えて乗車する場合は、1回に限り、併算した運賃の額から130円を減じた額とし、我孫子道駅を通過する場合は我孫子道で乗り換えて乗車したものとみなす（290円）

・届出予定の実施運賃（普通旅客運賃）での定期旅客運賃平均割引率

通勤 30.0%（上限35.6%）

通学 60.1%（上限63.3%）

・現行実施運賃（定期旅客運賃）での定期旅客運賃平均割引率

通勤 34.3%

通学 67.1%

※PiTaPa登録型割引サービスについては、現行同様、営業キロ程毎の上限金額を設定する予定です。

10. お客さまお問い合わせ先

阪堺電気軌道株式会社 業務部営業課

TEL：06-6671-3080（平日：9時～17時50分）

以上